



IDF PRESS RELEASE

Belfast, 30th October 2017

IDFプレスリリース

2017年10月30日、ベルファスト発

栄養問題においてたんぱく質が次代のフロンティア

になるリスクを抱えた乳および乳製品

栄養の討論において世界の酪農乳業は、たんぱく質が
「次代のフロンティア」になるリスクを取り上げる

IDFワールドデーリーサミット2017ベルファストで講演した、グローバルスタンダード（規格）担当IDFリーダーのジャープ・エヴァース Jaap Evers 氏は、「乳たんぱく質は高品質の天然系たんぱく質です。乳たんぱく質が持続可能な食事の欠かせない材料であることを消費者に伝えることが大切です。環境的な観点から、「緑色」は良いたんぱく質、「赤色」は悪いたんぱく質であるとみて、どういう訳か乳たんぱく質は「赤色」とのメッセージを消費者が受け取る事態は望みません。」と語った。



「消費者のヘルシーな食事に欠かせない材料として乳の役割を強化する研究科学論文は豊富にあります。IDFはまもなくたんぱく質に関する研究プロジェクトを立ち上げる予定です。」



国際的に著名な栄養専門家メリー・アン・バークマン Mary Anne Burkman 氏は、「乳の栄養的な価値を下支えする科学的な有効性をいまほど総合的に示していかなければならないことはありません。消費者や保健当局にこの事実を認めてもらうことが課題になります。」と述べた。



IDF 事務総長ニコ・ヴァン・ベルゼン氏は、「栄養、食品安全、アニマルウェルフェアなどを含む多くの課題を取り扱う高品質の科学研究を届けることにおいて、IDFは相応の役割を演じ続けることを誓います。IDFが今後、取り上げる課題はさらに、抗生剤の最適な使用方法に絞ったガイドラインを作成する活動があります。」と語った。



翻訳：J I D F事務局

編者注:仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。